

温州ミカン幼木におけるミカンハダニの被害許容水準

[要約] 温州ミカン‘原口早生’の幼木においてミカンハダニの寄生密度を3～5頭/葉以下に抑えた場合、ハダニの加害が主幹の肥大や枝葉の生長などの樹の生育に及ぼす影響はない。

長崎県果樹試験場・病害虫科	専門	作物虫害	対象	果樹類	分類	指導
---------------	----	------	----	-----	----	----

平成9、10、11、12年度 長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

ミカンハダニはカンキツ類の重要害虫で年間に何回も防除されている。温州ミカンの苗木における本種の効率的防除のため、ハダニの加害が樹の生育に及ぼす影響を明らかにし、苗木および幼木におけるミカンハダニの被害許容水準を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- ① 温州ミカン‘原口早生’の1年生苗木において、ミカンハダニの寄生密度を年間で5頭/葉以下に抑えれば、春葉の被害度を43～63以下、3頭/葉以下ならば36～47以下に抑えることができ、葉の光合成能力が低下する被害度60～80以下におおむね抑えることができる(表1)。
- ② ミカンハダニの寄生密度を5頭/葉以下に抑えた場合、ハダニの加害が主幹の肥大および樹高、着葉数、出芽枝数、枝の伸長量に及ぼす影響はない(図1)。
- ③ 樹全体の葉面積は寄生密度を5頭/葉以下に抑えた場合、2年経過後からハダニを完全に防除した場合および0.5頭/葉以下に抑えた場合よりも小さくなる(図1)。

[成果の活用面・留意点]

- ① 早生品種‘原口早生’での成果であり、品種や施肥管理法が異なると被害の状況も異なる。
- ② 着果後の被害は着果前とは異なり、被害は一定でない。

[具体的データ]

表1 葉のハダニ寄生密度と温州ミカン春葉の被害と到達時期

葉の寄生密度	1997年		1998年		1999年	
	被害度	時期	被害度	時期	被害度	時期
完全防除	0	12月下旬	11	8月下旬	8	11月上旬
0.5頭/葉以下	17	"	29	10月上旬	38	"
1.0頭	34	"	25	"	35	"
2.0頭	33	"	33	"	33	9月上旬
3.0頭	36	"	47	9月下旬	40	"
5.0頭	43	"	53	"	63	7月下旬
無防除	41	"	46	"	61	"

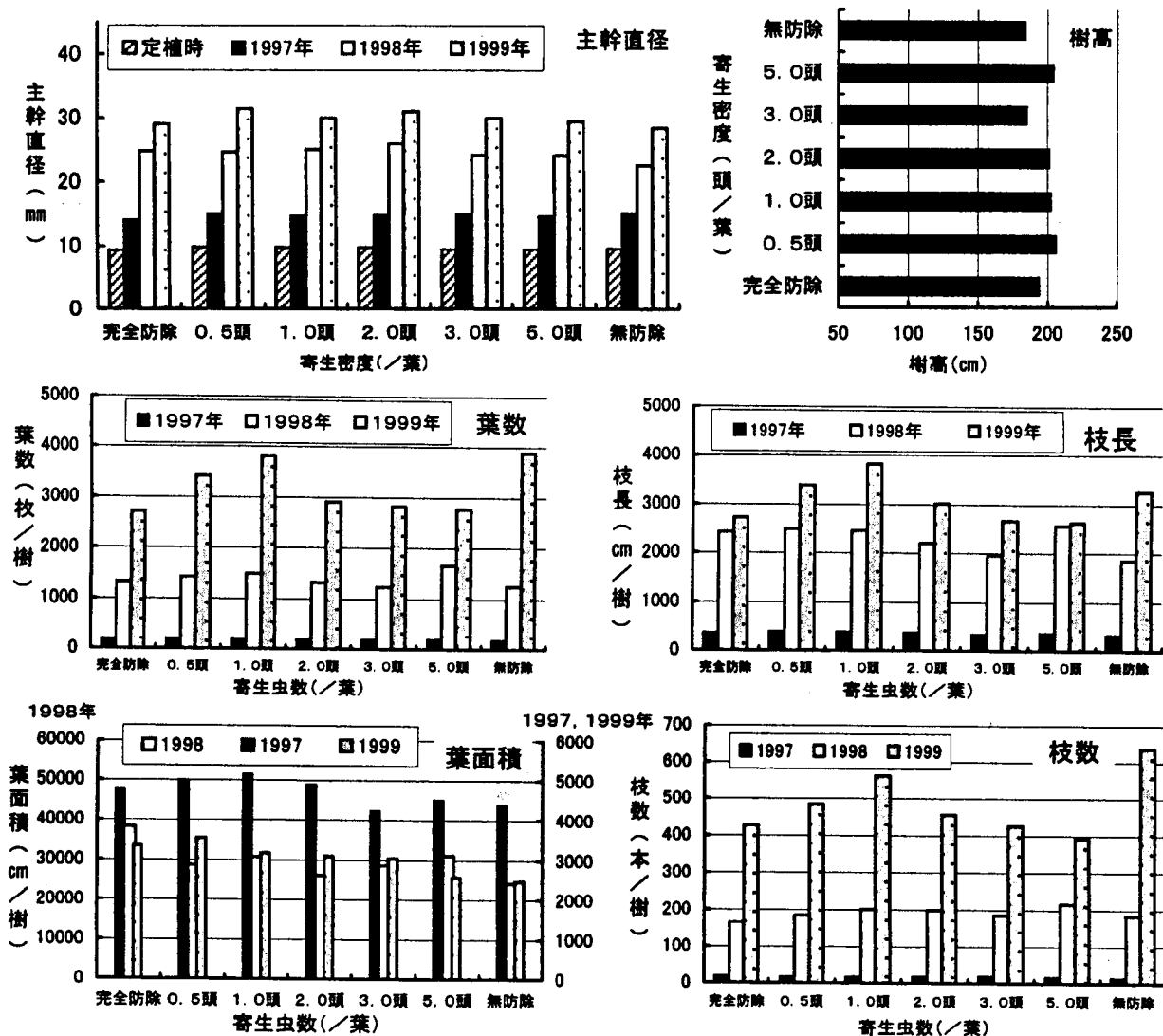


図1 ミカンハダニの寄生密度と温州ミカン幼木の生育

[その他]

研究課題名：暖地温州ミカンの少資材・低樹高を基幹とした品質保証果実栽培技術  
 予算区分：国庫（地域基幹）  
 研究期間：平成12年度（平成11～15年）  
 研究担当者：中村吉秀，大久保宣雄，太田孝彦